



特集

学校を核とした地域づくりの実現に向けて ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

問 生涯学習課 ☎ 24-7974 FAX 23-9190

コミュニティ・スクールとは

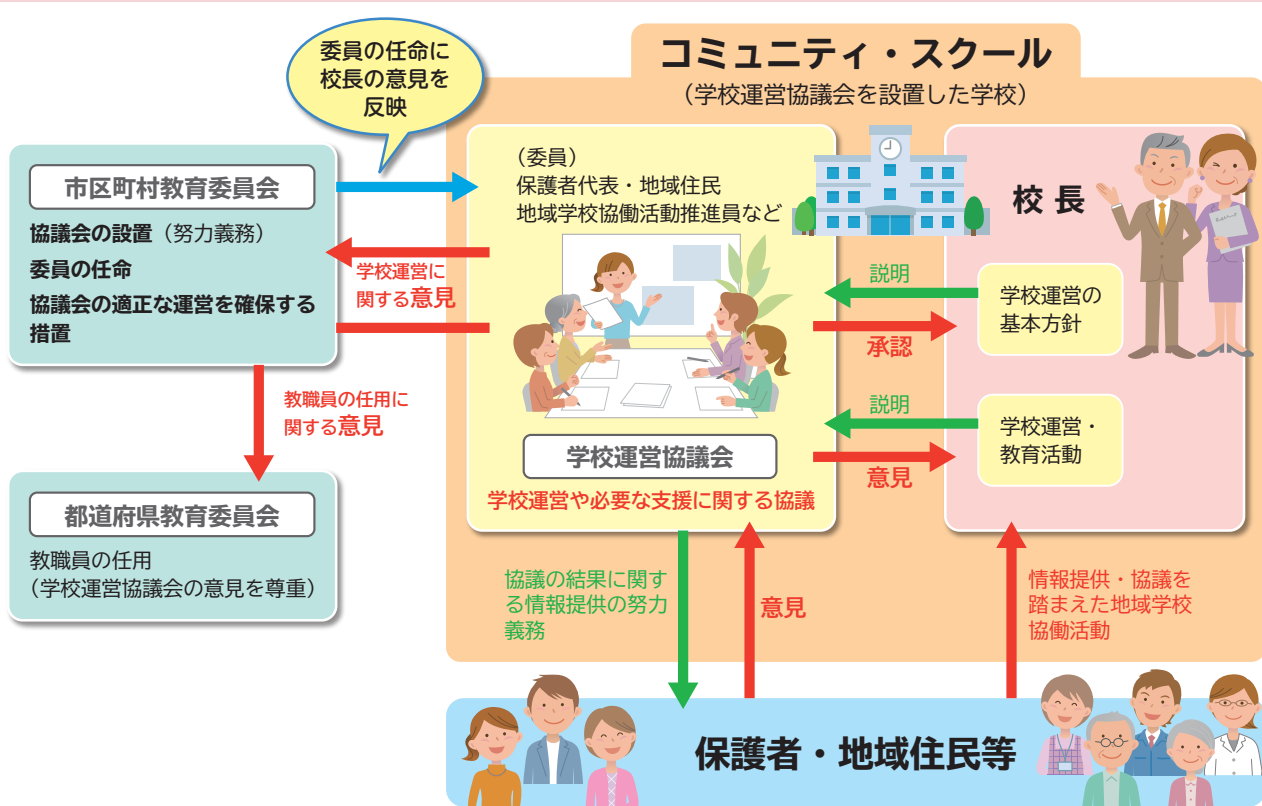
「コミュニティ・スクール」とは、地域の人たちや保護者が学校運営に関わる「学校運営協議会」が設置された学校のことです。この協議会では教育委員会が任命した委員が、学校の運営とそのために必要な支援についてなど、学校をより良くするために話し合いをします。

各会議では、「育てたい子どもの姿」を委員みんなが共有し、「熟議」という話し合いを通じて、学校や子どもたち、地域をより良くするための具体的な活動（地域学校協働活動）へ話を進めていきます。

彦根市では、平成 28 年度に若葉小学校に学校運営協議会を設置して以降、設置校を順次増やし、令和 6 年度に市内全小・中学校がコミュニティ・スクールとなりました。

コミュニティ・スクールの仕組み

〈出典〉これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動（文部科学省）



地域学校協働活動とは

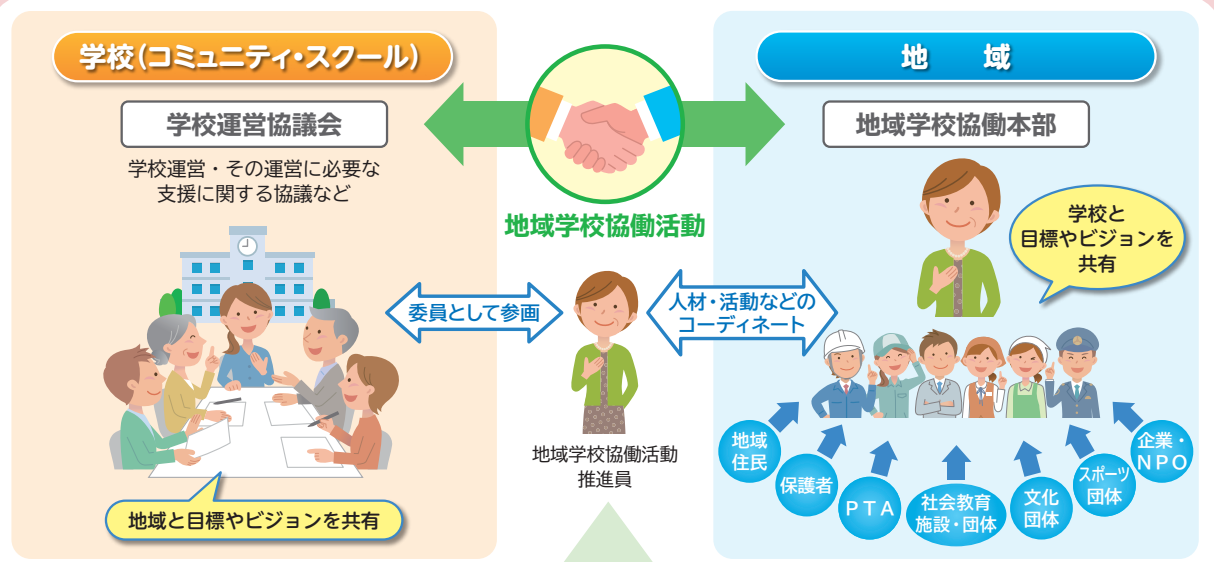
彦根市では、コミュニティ・スクール（2 ページ）に加え、幅広い地域住民等の参画を得て行う「地域学校協働活動」を進めています。この活動は、地域全体で子どもの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校と地域がパートナーとして連携・協働して行うものです。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

近年、地域のつながりの希薄化や子どもの問題の多様化により、地域全体で子どもを育てる力が低下しており、学校と地域が目標を共有した教育活動が求められています。この活動の実現に向け、教育委員会が委嘱した「地域学校協働活動推進員」が学校と地域の橋渡し役となり、2 つの取組の一体的推進に力を発揮しています。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動のつながり

〈出典〉これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動（文部科学省）



地域と学校をつなぐ

地域学校協働活動推進員さんに聞きました！

地域学校協働活動推進員（城東小学校）の角さんに、インタビューしました。



城東小学校 地域学校協働活動推進員
すみすがこ 角 寿賀子 さん

Q: 地域学校協働活動推進員として、どのようなことをされていますか？

私は、推進員として主に**学校と地域をつなぐ役割**を担っています。地域には、多様な力を持った方がおられるので、その人たちと学校を結び、子どもたちの学びや育ちを支えられるように活動しています。

Q: 具体的にはどのような活動をされているのですか？

例えば、小学 3 年生総合的な学習の時間で商店街見学をする際には、地域で見学を受け入れてくれそうな商店を学校に紹介したり、見学の見守りに参加したりしました。先生から子どもたちの「行ってみたい」「知りたい」という思いを聞き、該当する商店に依頼に行きました。学校と商店を結びつけることは、**地域に住んでいる自分の強みを生かすことができましたし、商店街の活性化にもつながっていく**と思っています。

Q: 活動のやりがいを教えてください。

学校や地域の**子どもたちの成長を継続して見届けられることができる**ところです。小学校入学時から卒業まで、そして中学生、高校生へと成長していく様子を見ることができとても嬉しいです。また、子どもたちと関わることで、**自分自身が学びの機会をもらったり、元気をもらったり、また新しい発見があったりするの**もやりがいとなっています。

Q: 市民の皆さんにメッセージをお願いします！

まずは、**身近な子どもたちとコミュニケーションを図ること**がスタートだと思います。「おはよう」「おかえり」といった挨拶を大人が続けることで顔見知りになり、子どもたちに安心感を与えることができます。このことは、**地域づくりや地域の防犯につながる第一歩**でもあると思います。